

編集兼発行所 館公民館
須坂市町分館
塩川町
発行責任者 田尻光雄
印刷所 印刷所
佐藤印刷(株)

町 勢
世帯数 1,033戸
人口男 1,332名
女 1,341名
計 2,673名
12月1日現在

退任のあいさつ

分館長 田尻光雄

平成28年度の分館役員のうち、私を含めて計7名が任期満了となり12月末で退任となります。ここで退任者となります。ここで退任者としてご挨拶申し上げます。

私は温かいご指導とご協力をいただきました。本館にありがとうございました。

昨年の1月から分館活動に参加をして2年間、いろいろな行事を通じて区長をはじめ区役員の皆様、各種団体の皆様、区民の皆様

私たちが塩川町公民分館も年当初の事業計画に従って、文化祭、交通安全講座、健康講座、人権学習会、盆踊り・こども大会、生涯学習会等の開催、各種スポーツ大会の応援、分館報の発行そして趣味の

地域のコミュニティーを大切に

区長 田中政義

区民の皆様にはこの1年間区行政、又分館活動にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年は、春の文化祭から始まり、11月の日野地域づくり文化祭まで、分館役員の皆様には大変ご苦労をいただきました。

春の文化祭には、展示の部と舞台の部、それぞれ区民の皆様のご力作・熱演で大変盛り上

サークル活動への助成・支援等いろいろな分館活動を行ってまいりました。

分館活動は「出会い、触れあい、学びあい」の場所作りであるといわれており、分館としてもいろいろな行事を実施してまいりました。そのなかには参加者の数が伸び悩んだ行事もあったことも事実です。その反面、盆踊り・こども大会では、熊野神社の境内を埋め尽くすほどの人で、

がりました。また、8月の盆踊りこども大会には、大勢の子どもたちと区民の皆様により、盆踊りと子どもたちのお楽しみ大会が催され、楽しい一夜を過ごすことができました。生涯学習講座では、発掘された土器・出土品から塩川町の歴史や時代の背景について学ぶことができました。

の人権問題学習会が日野地域合同で日野地域公民館別館において開催され、「共に生きる豊かな地域社会を目指して」ふれジョブの実践から」と題し、須坂ふれジョブ推進会議会長の菅沼美知子さんから、支援を必要とする子どもたちのために活動している内容について講演をいただきました。子どもを中心に、地域・学校・企業の温かい支援をいただく中で、誰もが持っている優しさを引き出し、地

域のつながりを大切に、心豊かに暮らせる町を目指して取り組んでいる様子をお聞きました。

このように公民館活動は区民の繋がりが、コミュニティの深まりがより一層強まるものと考えており、今年度の分館活動でも大勢の区民の皆様参加をいただき、より地域の繋がりが深まったものと思っております。

これから更に人のつながりや絆が深まり、塩川町の方々が家族の

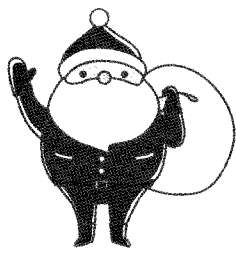
ことでも達のにぎやかな声と元気な姿に、こちらもパワーをもらいました。昔から塩川町の鎮守の森である熊野神社に集う多くの人たちの賑わい、そして交流こそが私たちの目標とする分館活動そのものであると思えます。どうか区民の皆様も各種行事、各種の趣味のサークルに積極的に参加していただき交流をしたいと思います。

ここ塩川町も須坂の

玄関口として近年住宅戸数も増えてまいりましたが、年内にも須坂の幹線道路である国道406号から国道403号へ通ずる新しい道路も、塩川町を貫いて開通することから、車の流れも大きく変わることが予想され、それにつれて新しい風が生じ町の様子も大きく変わっていくこととしていきます。来年は、草間新分館長のもと新しい分館役員も加わって分館活動が展開されると思いますが、どうか引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

どうもありがとうございます。ございました。

ように出会い、笑顔で挨拶を交わすことのできる明るい町づくりに公民分館が中心となり活躍されますよう心より祈念申し上げます。各種団体や地域の皆様の更なるご指導ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



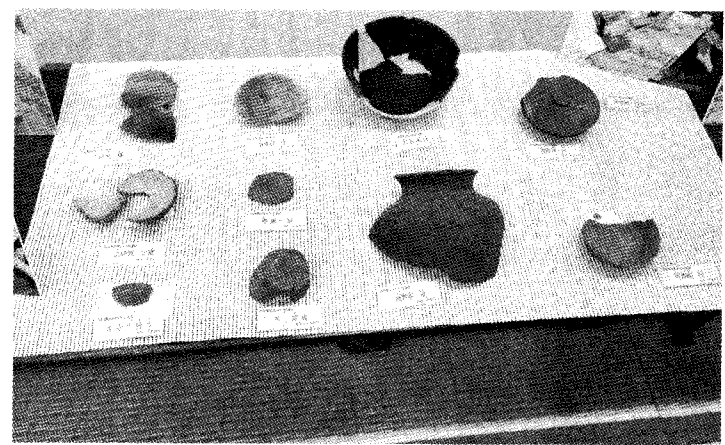
去る9月10日「生涯学習講座」が公会堂大広間で開講されました。約40名の方々が参加され、「発掘からみた須坂・塩川の中世史」(米子硫黄をめぐる歴史)という演題で須坂市市民共創部生涯学習スポーツ課文化財係学芸員の田中一穂様に講演いただきました。

併せて市内で最近発掘された出土品を展示していただき発掘調査の最新情報を同じく学芸員の高橋千穂様からご説明いただきました。講演の中心は米子硫黄鉱山の起源、硫黄の軍事物質としての重要

性などでした。米子の硫黄は八世紀に朝廷に献上され、相模、陸奥のそれと並んで日本最古のものであるとのことでした。戦国時代には鉄砲火薬需要の拡大により硫黄生産が増大し真田氏などにとって米子、小串の硫黄は重要性を増していました。その後徳川による国の統一と鎖国により軍事的硫黄需要は衰退しました。それが18世紀初頭から外国船の来航に備え、沿岸に大砲を配備することとなり硫黄需要が再燃。竹前権兵衛の米子鉱山再開発の運びとなり竹前氏はこれを得た富により新潟、紫雲寺の干拓をおこなったということでした。



近現代になり日清、日露、第一次世界大戦と続いた戦争で硫黄需要が増加。昭和戦前期にはマッチ、ゴム生産用途に硫黄が多く使われ、明治、大正と生糸で潤った須坂の町の繁栄を引き継ぎ、昭和30年代まで米子、小串両鉱山は須坂経済を支えたという話で興味深いものでした。ふだんあまり触れることのないふるさとの歴史話を聴くのもいいことだと感じました。以上



「生涯学習講座」開講される。公民館 草間 秋男



第二回人権問題 学習会を終えて

人権同和担当主事 伊藤 守 夫

去る7月29日の第一回人権問題学習会に続き、10月22日(土)に第二回の人権問題学習会を開催しました。当日は、来賓として須崎市議会事務局次長の勝山修吉様をはじめ、日野小学校人権教育担当の大橋先生をお迎えし、講師には須崎市人権交流センター指導員の山岸周一様をお願いし、分館役員を含め、総勢49名の区民の方ご参加を得て開催することができました。

学習会では、まず田中区長と勝山様からご挨拶を頂きました。続いて大橋先生から日野小学校での人権問題の取り組みについて、学校目標の「にっこり、しっかり、しなやかに」のもと「おはよう」の挨拶に始まり友達同士の仲良くし、道徳の授業の取り組みとしては仲間作りや協力しないうできないグループ学習、6月・11月の人権教育月間には、友達の良いところを考え合う「なかよしの木」などの活動報告を頂きました。

次に本題の人権学習では、第一回はテーマを共に生きる豊かな地域社会のあり方(ふれジョブの実践)としたことから、二回目は「多様性を尊重した職場のコミュニケーション」とし、ご講演をいただきました。始めに山岸様から「やる気を引き出すコーチング」について傾聴等のスキルを学び、続いて視聴したDVDの中には外国人・帰国子女・育児時短中・車椅子利用・派遣社員など多様性に

富んだメンバーで構成された職場が描かれ、文化や生活習慣の違いで「適当に作って」「なるはやでお願い」といった曖昧な仕事の指示に混乱する外国人・帰国子女の姿がありました。上司が、仕事は背中で学ぶものという考え方を伝え、相手の価値観や想いに目を向けきちんと向き合うことにより職場の雰囲気は大きく変わり、成果を上げるようになります。国籍や文化・生活習慣の違いを理解し話し合うことが大切であることを学びました。



「楽しく体を動かそうよ大会」

分館体育部長 原 希美子



公民分館役員研修会に参加して

社会部 宮本 明子

去る11月6日(日)に、公民分館役員研修会が行われました。今年の研修先は、かつて千国街道(通称塩の道)の宿場町として栄えた大町市です。博物館を見学し、大町市の歴史や文化に触れてみようという目的を持ち、塩川町を出発しました。

「塩の道 ちょうじや(旧塩の道博物館)」に到着しました。「塩の道 ちょうじや」は、千国街道の歴史と人々の暮らしを紹介した博物館です。千国街道は現在の糸魚川市から松本市まで、塩や海産物を運んだ重要な道でした。江戸時代に塩問屋を営んでいた平林家の建物を利用した館内には、当時の牛方や歩荷の運搬道具、旅の装束や弁当箱、生活道具などが多数展示されています。なかでも印象深かった物は歩荷の背負子です。歩荷は約60kgもの荷物を背負って険しい山道を往き来したそうです。来館者の体験用に重さを半分にした背負子が

あり、試してみました。少し重く、持ち上げることもままなりません。当時の塩がいかに貴重であったことが窺い知ることができました。見学の後は大町温泉郷の旅館で懇親会が行われ、美味しいお膳料理とお酒をいただきながら楽しい時間を過ごしました。食後は大町市の山中にある霊松寺を参詣。境内を囲む赤と黄色の鮮やかな紅葉に「日本に生まれ良かったなあ」という声も聞かれました。

女性部員念願の、小川の庄おやき村へも足を伸ばし、囲炉裏でこんがり焼かれた「縄文おやき」をお土産に買い、帰路につきました。晩秋の大町地域を満喫し、公民分館役員の間睦を深めた一日となりました。

編集後記

去る11月3日(木)、秋晴れの中、「楽しく体を動かそうよ大会」が、日野小体育館、グラウンドで行われました。参加された方は59人でした。

前半は体育館にて、ダーツ、ストラックアウト、ポリング、輪投げ、閉眼片足立ち、ストッパウォッチストッパの6種目を順番にやり、点数を競いました。後半はグラウンドにて、スプリンかけっこや、

須崎市市民共創部生涯学習スポーツ課スポーツ振興係の山田洋さんをお迎えし、ノルディックウォーキングのご指導をしていただき、学校の周りを皆さんでウォーキング体験をしていただきました。そして、表彰式を兼ねて公会堂で懇親会が行われました。たくさんのお賞品が用意されており、お一人でも多くの賞品を手にした方もいらっしゃいました。大変賑わいのある楽しい1日になったと思います。ご参加された皆さま、お疲れ様でした。

早いもので1年が過ぎようとしております。お陰様で区民の皆様のご協力により、今年度の公民分館活動を無事終えることができました。分館役員の任期は2年となっております。約半数がここで退任することになります。来年は新メンバーが加わり、違った視点で新しい分館事業が展開されます。館事業が展開されます。いづれにいたしましても、分館の活動は区民の大勢の皆様が積極的に出席していただかなければ成り立ちません。来年も今年以上に大勢の皆様に参加していただき、分館活動が盛り上がることを願っております。区民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

